



## 追悼文

### 島本先生へ：あふれる感謝と尽きない思い出

9月28日の島本先生のご逝去に際し、心より哀悼の意を表します。

今では昭和の昔となりますが、私は横浜市の三菱化成植物工学研究所で島本先生の部下としてご指導頂き、当時の植物バイオテクノロジー技術であった細胞融合や遺伝子導入に試行錯誤し、植物分子遺伝学の初期の実験をやらせて頂きました。島本先生は当時から既成概念や社会常識にとらわれない自由な精神の持ち主で、誰とでも同じ目線で親しく会話して下さる気さくなお人柄でした。実験から新しいことを見つけるとどんなに小さなことでも喜んでくださり、研究することで「何かを見つけ出す」という生き生きとした感動を伝えて下さいました。豊かな感性をお持ちでバイオリンやギターからカラオケ、スキーの達人でもあり、世に出た頃からの「村上春樹」の大ファンで、仕事も宴会も楽しく活気のある雰囲気盛り上げる素晴らしい才能を発揮されてきました。奈良先端技術大学院大学・バイオサイエンス学科でも多くの学生さんが島本先生にあこがれ、親しみ、その研究実績と優秀な人材育成の成果は膨大なものと思います。

島本先生は花成ホルモン・フロリゲンをはじめ植物免疫の過敏感応答など歴史的評価に値する多くの功績を積み上げ、紫綬褒章を始めとする様々な栄誉を受けられ、花成のエピジェネティクス領域での御活躍の期待が高まる矢先での悲報となったことが残念でなりません。島本先生はどんなに多くの栄誉と賞賛を受けられても、またその陰で想像を絶する努力を尽くされながらも、名声に驕ることもご自身の苦勞を表に出すことも一切無く、以前にも増して思いやり深く楽しい雰囲気でご接して下さり、私たちのイネ遺伝子ターゲティング研究にも惜しみないご支援を送り続けてくださいました。

私の海外留学中に島本先生から中島みゆきさんの曲「ファイト！」をお送り頂いたことがあり、職場への運転中に聴いていると伺いました。戦うこの曲が植物分子遺伝学の未来を探究し続けた島本先生の生き方と重なるように思えてなりません。島本先生の思い出と残された言葉を大切に、島本先生に喜んで頂ける仕事をしたいと思っております。

島本先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成25年11月11日  
名城大学 農学部 教授  
寺田理枝

日本エピジェネティクス研究会事務局  
東京医科歯科大学 医歯学総合研究科  
分子腫瘍医学分野内  
庶務担当幹事 湯浅保仁  
担当：阿部良子  
住所：〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45  
TEL:03-5803-5184  
E-mail: jse.monc@tmd.ac.jp